

第2四半期決算説明会

平成27年12月期(平成27年1月1日～平成27年6月30日)

2015年8月14日

ラオックス株式会社

東証2部 証券コード(8202)

1. 連結業績サマリー

①連結損益計算書

②連結貸借対照表

2. 事業別業績

①国内店舗事業

②海外事業（中国出店事業・貿易仲介事業）

3. 第2四半期振り返りと今後の見通しについて

【その他】

☆月次報告に関して

1. 連結業績サマリー

連結損益計算書

国内事業の大幅な増収増益が全体を牽引

(単位:千円)	前第2四半期 連結累計期間	当第2四半期 連結累計期間	備考
売上高	20,230,082	45,168,030	前年比2.2倍。全体の88.6%を国内事業が占める。
売上総利益	5,369,994	15,097,834	粗利率26.5%→33.4%に改善
販管費/一般管理費	5,076,032	10,122,174	売上増に伴い1.9倍。科目毎の比率に大きな変化無。
営業利益	293,962	4,975,659	2Q(4-6月)で3,149百万円増(当第1四半期1,826百万円)。 中国事業の赤字減少効果とシェアの高い国内事業営業利益率の改善(国内事業営業利益率前年10%→15%へ)により大幅増
経常利益	256,563	4,975,540	
四半期純利益	58,237	4,607,740	

連結貸借対照表

公募増資の実施と売上増加に伴い資産の増加が顕著

(単位:千円)	前連結会計年度	当第2四半期連結会計期間	備考
資産合計	18,959,206	57,524,980	資産の増加は、増資と売上増が主な要因。
流動資産合計	13,559,070	30,478,118	
固定資産合計	5,400,135	26,895,506	
負債合計	8,679,997	13,173,341	売上増に伴う仕入増加による買掛金の増加等。
流動負債	7,438,086	11,970,362	
固定負債	1,241,910	1,202,979	
純資産合計	10,279,209	44,351,638	増資による株主資本の増加。
負債純資産合計	18,959,206	57,524,980	

2. 事業別業績

国内店舗事業

訪日客数の増加による売上利益の拡大

業績

(単位:千円)	前第2四半期 連結累計期間	当第1四半期 連結累計期間	当第2四半期 連結累計期間	備考
売上高	13,030,196	15,930,101	40,058,818	客数増加により、前 年同期比約3倍 1Q比2.5倍の伸び
粗利率	33.4%	35.8%	36.2%	中期計画目標値に 対し着実に推移
営業利益率	10.6%	15.1%	15.4%	

出店

2月15日イオン成田店(159.70㎡)
3月7日大丸心斎橋店(105.45㎡)
4月2日長崎松ヶ枝ターミナル店(29.75㎡)
4月4日心斎橋オーパ店(29.75㎡)
4月18日タワーシティ長崎(578.15㎡)
5月22日函館赤レンガ店(169.06㎡)
5月29日小樽運河店(419.80㎡)
6月6日新宿本店(2100.99㎡)

客数

月 ▼	2014年	2015年
1月 集計	39,553	107,384
2月 集計	55,340	207,590
3月 集計	60,736	186,714
4月 集計	87,555	253,006
5月 集計	75,532	327,791
6月 集計	73,110	412,386
総計	391,826	1,494,871

海外事業(中国出店事業/貿易仲介事業)

第3次中期計画の柱へと育てるべく着実な基礎固めを実施

業績

(単位:千円) 中国出店事業	前第2四半期 連結累計期間	当第1四半期 連結累計期間	当第2四半期 連結累計期間	備考
売上高	6,371,501	1,938,575	4,305,179	実店舗閉鎖により前年比68%。
粗利率	12.79%	8.42%	10.48%	
営業利益	▲575,338	▲176,803	▲192,898	リストラ効果により前年比赤字縮小
(単位:千円) 貿易仲介事業	前第2四半期 連結累計期間	当第1四半期 連結累計期間	当第2四半期 連結累計期間	備考
売上高	454,008	165,734	494,079	
粗利率	32.94%	33.52%	27.19%	主力のベビー用品の価格競争激化により粗率低下
営業利益	▲129,187	▲63,318	▲120,267	販売網構築の為の投資先行

越境EC

- ・銀聯オンラインモール日本館
- ・楽天グローバルマーケット
- ・蘇寧易購Laox旗艦店
- ・アマゾンUSA



蘇寧易購(Suning.com)の旗艦店に次ぎ、
8月1日__天猫国際(Tmall)にLaox海外旗艦店を出店
本格的にEC事業拡大へ。

3 . 第2四半期振り返りと今後の見通しについて

振り返り

外部環境

【訪日外客数】:上半期は前年同期比46%増の914万
円安、LCC拡大、クルーズ船増加、ビザ要件緩和、免税範囲拡大
⇒インバウンド市場への追い風継続 * 中国217万人で前年上半期の約2倍
【訪日外国人消費動向】:上半期旅行消費額1兆5,953億円
四半期としては、過去最高を更新。中国人のシェアは全体の4割。

取り組み

	実施概要
3月	公募増資を発表・中期計画達成にむけて出店資金を調達。株主層の拡大とIR効果を得る。
6月	ストックオプション発行を発表・中期計画達成にむけて社員のモチベーションUPをはかる。
	オリジナルファッションブランド「ORIGAMI」を新宿本店のオープンにあわせリリース。
	(株)モード・エ・ジャコモ買収を発表・MD戦略強化。
	(株)オンワードホールディングスとの合併会社設立を発表・MD戦略強化。
7月	(株)NTTドコモと訪日外国人向けサービス開始を発表・ビックデータの活用でサービス強化。
8月	今期業績修正を発表。

アパレル
カテゴリー
の増強

中期計画に沿い、「全国免税店ネットワークの構築」「メイドインジャパンに特化したMD戦略」「高効率のオペレーションと言語サービス」への取り組みが評価された。10

今後の見通し

外部環境

- ・アジア及び中国経済について
- ・為替の影響について

取り組み

3プレミアムの拡充に引き続き邁進

【店舗のプレミアム】

- ・全国免税店ネットワークの構築
- ・高効率オペレーションでストレスフリーショッピングの実現
- ・グローバルおもてなし

【MDのプレミアム】

- ・メイドインジャパンの高品質で豊富な商品構成

【人材のプレミアム】

- ・グローバル人材育成によるサービスのプレミアム

業績修正

単位:百万円	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
修正前	70,000	4,550	4,550	4,200
修正後	90,000	9,000	9,000	8,300

第2次中期計画の前倒し達成と第3次中期計画に向けての準備に着手

【その他】

月次報告に関して

案

【平成27年度 月次状況報告】

平成27年8月20日
(東証2 1 0200)

JNTOの月次発表にあわせて毎月20日を予定

社長室経営企画課

【1】インバウンド状況 ※7月の数値は国内店舗売上に関する月次速報値です。数値単位はJNTO公表値。

		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
売上高 増率比	全体	25.1%	24.0%	26.0%	26.0%	26.4%	40.2%	27.2%					
	増率比	25.1%	24.7%	26.2%	26.2%	26.4%	26.4%	22.7%					
全店舗数(店)		17	18	18	19	22	24	24					
乗客数(人)		107,504	107,190	106,734	105,000	107,751	412,508	406,824					
訪日人数		1,218,395	1,300,302	1,525,879	1,764,850	1,641,800	1,602,200						
訪日中国人数		226,134	268,080	328,121	406,721	387,200	462,200						

【2】出店状況_2014年12月末現在17店舗⇒2015年6月末現在24店

—新規出店—

- ・2月15日 イオンモール成田店
- ・3月7日 大丸心斎橋店
- ・4月2日 長崎港松ヶ枝ターミナル店×クルーズ船搭乗のみ営業
- ・4月4日 心斎橋OPA店
- ・4月18日 タワーシティ長崎店×クルーズ船搭乗のみ営業
- ・5月22日 西崎赤レンガ店
- ・5月29日 小樽運河店
- ・6月6日 新宿本店

—閉店—

- ・3月31日 新千歳空港店